



廿日市市立佐伯中学校 令和7年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

5月号(No.4)

令和7年

5月12日(月)

授業参観・PTA総会

4月19日に、今年度初めての授業参観がありました。1年生と3年生は道徳、2年生は1組が英語、2組が数学の授業でした。生徒は少し緊張気味でしたが、前向きに取り組みました。

【保護者の皆様へ】

授業参観、学級懇談の後、ランチルームでPTA総会が行われました。昨年度の報告と今年度の計画が報告され、無事に承認されました。旧PTA役員の皆様には、長年にわたり本校の教育活動を支えていただき、とりわけコロナの影響を受けた時期にご尽力いただいたことに対しまして、心から感謝申し上げます。

新PTA役員の皆様を中心とした保護者の皆様におかれましては、今年度も佐伯中学校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



生徒暮会

5月1日に生徒暮会が体育館でありました。各学級の班ごとに縦割りチームを作って、「ピンポン玉リレー競争」(写真右)を行いました。手には料理で使うオタマを持ち、中にピンポン玉を入れて運びます。慎重に運ぶ人、ダッシュで運ぶ人、それぞれのスピードでバトン代わりのピンポン玉をリレーしました。

そのあとは、生徒会から今年度のスローガンが発表されました。「WE CAN DO IT! 仲間と共に~それぞれのカラーで咲き誇れ~」でした。生徒会活動や学校行事で、生徒の皆さんが持てる力を発揮してください。

最後に生徒指導主事の秋田先生から、SNSのトラブルについてお話がありました。友達とのやりとりで相手を傷つける言葉はないか、根拠のはっきりしないことを思い込みで拡散していないか、友達の写真を許可なくあげていないかなど具体的な注意がありました。保護者の方にはメールで伝えておりますので、お子様にスマホを持たせている場合は、十分ご注意ください。



「いのちの大切さについて考える日」

今から12年前の平成25年5月8日、廿日市市内の中学3年生徒が自ら命を絶つという、大変悲しい、痛ましい出来事が起こりました。このような痛ましい出来事を繰り返さないために、廿日市市では翌年の平成26年から、5月8日を「いのちの大切さについて考える日」として、市内の全ての小・中学校で、いのちの大切さについて考える取組を行っています。

今年も佐伯中学校では、「いのちの大切さを考える全校集会」を行ったり、道徳の授業で「いのちの大切さを考える学習」をしたりすることとおして、「いじめは絶対に許されないこと」や「自分や他人の命を大切にすること」などについて、深く考えていきました。全校集会では、生徒会執行委員を中心に「いじめゼロ宣言」として、日常のリアルな場面を寸劇で表現して注意を促したり、全員で「いじめゼロ宣言」を書いて、班の代表が発表したりしました。



生徒会執行委員の劇



「いじめゼロ宣言」



班ごとに宣言

これを機会に、家族の方とも「いのちの大切さ」についてじっくり話し合ってください。

【いじめについて、心に刻んでほしい3つのこと】

1 「みんなでいじめのない学校にしよう」

いじめのきっかけになる言葉や行動をみんなでなくそう。

2 「自分や他人の命を大切にしよう」

優しい人になろう、思いやりのある人になろう、お互いの良さを認め合おう、そして命の大切さについて考え、行動しよう。

3 「一人で抱え込まず、相談しよう」

いじめによって辛い思いをすることがないように、また、一人で抱え込むことがないように、話しやすい人に必ず相談してください。受けとめてくれる人が必ずいます。

本校には、心の悩みを相談することができるスクールカウンセラーの桐原先生と、生活の中で抱えている様々な問題の解決を図る福祉の専門家のスクールソーシャルワーカーの阿部先生が、ほぼ毎週木曜日に在校しています。

※ 相談したい生徒や保護者の方は、遠慮なく、次の相談窓口の先生にご相談ください。

体罰・セクシャルハラスメント及びいじめ等の相談窓口 (0829) 72-1145

占部久恵教頭先生 生徒指導主事:秋田智恵先生 養護教諭:角谷美恵子先生

学年主任:播本志保先生 森岡勝司先生 高浜のぞみ先生

<気になることがありましたら、いつでもご相談ください。>